

令和6年9月3日 開会

令和6年 第3回 東松島市議会定例会

# 議員一般質問通告書

東松島市議会

《 議員一般質問 目次 》

順位	氏名	件名	頁
第1位	石森 晃寿	1 鳴瀬川河川敷（小野地区）の整備について	1
		2 新型コロナウイルスについて	2
		3 過疎対策について	3
第2位	千葉 修一	1 道の駅の進捗状況について	4
		2 産業祭について	5
第3位	齋藤 徹	1 投票率向上へ向けた取組を推進せよ	6
		2 原発関連諸課題について	7
第4位	井出 方明	1 我が市におけるDX推進施策について	8
		2 航空自衛隊松島基地との共存共栄について	9
第5位	浅野 直美	1 道の駅東松島開業に向けた駐車場拡張と連絡歩道橋等設置について	10
		2 地球温暖化対策に係る取組推進を	11
		3 住宅用火災警報器設置について	12
第6位	土井 光正	1 帯状疱疹ワクチン接種費用の助成を早期に実施せよ	13
		2 異常気象や地震災害等による市民の命を守る万全な体制を構築せよ	14
		3 建設業の存続対策について	15
第7位	長谷川 博	1 記録的な猛暑から市民の命を守る取組を	16

順位	氏名	件名	頁
第8位	阿部 秀太	1 学力格差是正に向けた姿勢を問う	17
第9位	大橋 博之	1 若者の新規就農を促進する施策は	18
		2 骨髄バンクのドナー登録を増やすために	19
第10位	手代木せつ子	1 陸前小野駅の環境整備について	20
		2 子育て支援の充実について	21
		3 本市の学力向上施策について	22
第11位	小野 幸男	1 本市の移住・定住化策の現状と今後について問う	23
		2 全国学力・学習状況調査を踏まえ教育行政を問う	24
第12位	五野井敏夫	1 本市の産業育成と振興推進はいかに	25
		2 女性防火クラブの服装について	26

【質問者数 12人・質問件数 26件】

氏名	件名	要旨
<p>第1位</p> <p>石森 晃寿</p>	<p>1. 鳴瀬川河川敷（小野地区）の整備について</p>	<p>毎年、小野地区では、鳴瀬川左岸鳴瀬大橋付近の河川敷で流灯花火大会を実施し、100年以上の伝統ある行事として現在まで受け継がれている。しかし、観客席が木造で老朽化して見栄えも悪く、周りも雑草が繁茂している現状である。</p> <p>そこで、この場所を河川公園として整備することにより、観客席も設置され、周りの雑草も繁茂しなくなり、流灯花火大会の誘客の増加に繋がるばかりでなく、新たな観光スポットとして活用できると考える。</p> <p>河川を管理している国土交通省に整備を要望すべきと考えるが、市長の見解を問う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第1位</p> <p>石森 晃寿</p>	<p>2. 新型コロナウイルスについて</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の位置づけは、令和5年5月8日に5類感染症に移行し政府が外出自粛を要請することはなくなり、感染対策は、個人や事業者の判断に委ねられるなど大きな転換期を迎えた。</p> <p>しかし、新型コロナウイルスの全国の感染状況は、8月11日までの1週間に一つの医療機関当たりの平均患者数が10.48人となっている。特に、高齢者の感染防止や重症化防止には、新型コロナワクチン接種が有効な手段と考えられることから、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 新型コロナワクチンの定期接種対象者、接種の時期、接種方法、接種料金等はどうになっているか。また、接種料金が免除される対象者はどのようにしているか。</p> <p>(2) 新型コロナワクチンの任意接種を希望する方の接種方法、接種の時期、接種料金等はどうになっているか。また、接種料金が免除される対象者はどのようにしているか。</p> <p>(3) 新型コロナワクチン接種を依頼する医療機関と十分な調整をしているか。</p> <p>(4) 新型コロナワクチン接種経費等について、国から財政支援はあるのか。</p> <p>(5) 保育所園児、幼稚園園児、小中学校の児童・生徒等の新型コロナウイルス感染者数は把握しているのか。 また、感染が拡大した場合はどのような対策を講じるのか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第1位</p> <p>石森 晃寿</p>	<p>3. 過疎対策について</p>	<p>人口減少が著しい鳴瀬地区が令和3年度に過疎地域に指定され、市長は過疎地域からの脱却についてこれまで様々な人口減少対策を講じているが、一朝一夕で解決できるものではない。過疎計画を着実に実行していくことが大切であると思う。そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 過疎指定から3年5ヶ月になるが、旧鳴瀬町の3地区毎の人口動態は、どのようになっているか。</p> <p>(2) 今年度の過疎債を活用した事業は、どのようになっているか。</p> <p>(3) 市道駅前東1号線は、移転団地から国道45号と交差する重要な路線であるが、交通量が多い国道45号に自動車の出入りが円滑にできるように、過疎債を活用し市道側を一部拡幅整備できないか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第2位</p> <p>千葉 修一</p>	<p>1. 道の駅の進捗状況について</p>	<p>令和6年11月末、市民の多くが期待をしている道の駅開業に向け、農水産物の販売・加工施設、地元食材を提供する飲食施設等の機能を有する道の駅について、進捗状況を伺う。</p> <p>(1) 工事の進捗状況はどうなっているのか。</p> <p>(2) 道の駅のフードコート及び軽食のテナントの進捗状況はどうなっているのか。</p> <p>(3) 東松島市独自の新しい土産品の開発は進んでいるのか伺う。</p> <p>(4) 道の駅とコンビニは同時に営業を始めるのか伺う。</p> <p>(5) 道の駅開業するにあたり、PRはどの様に行うのか伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第2位</p> <p>千葉 修一</p>	<p>2. 産業祭について</p>	<p>今年で4回目を迎える産業祭は年々来客数も増えているが、いろんな面で見直しが必要と思われるので、以下について伺う。</p> <p>(1) 一時的ではあるが、駐車場に入れなく渋滞を起こしているが、その対策はどの様に考えているか。</p> <p>(2) 野菜の品評会には、多方面からの出品があってもいいと考えるがいかがか。</p> <p>(3) 年々来客数も増えているが、飲食できるスペースは足りているのか。</p> <p>(4) 道の駅のPRブースがあってもいいと思うがいかにか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第3位</p> <p>齋藤 徹</p>	<p>1. 投票率向上へ向けた取組を推進せよ</p>	<p>令和3年第2回定例会に同様の質問で、バスによる期日前投票所の設置についてを提言し、技術的な課題や事務従事者の確保といった課題のため導入は難しいとの回答であったが、質問から3年以上経過した現在では、解決可能な課題や他自治体の参考事例等が多くなっていると推察されることから以下に問う。</p> <p>(1) 前回の質問で10代20代の投票率が比較的低率となっていたが、様々な媒体を活用した選挙啓発について提言した。前向きに検討するとの答弁であったが、その後どのような取組がなされたか。</p> <p>(2) 投票所の統合が進み、適正な数で運用していることは理解できるが、交通弱者が権利放棄せざるを得ない状況は看過出来ない。デマンドタクシー等の利活用を検討した結果はどのようなになったか。</p> <p>(3) バスによる移動期日前投票所の実施について様々な課題から難しいと答弁があったが、技術革新や他の自治体における事例等で実施へ向けたハードルは低くなっていると思われる。市民の権利行使の一助となるように再度バスによる期日前投票所の開設を検討してはどうか。</p> <p style="text-align: center;">【答弁を求める者 選挙管理委員会委員長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第3位</p> <p>齋藤徹</p>	<p>2. 原発関連諸課題について</p>	<p>去る8月23日に宮城県庁においてUPZ関係自治体首長会議（東松島市、登米市、南三陸町、涌谷町、美里町）が女川原発のいわゆる再稼働交付金の配分を求めて要望書を提出したが、県からの回答で立地自治体において優先的に活用すべきとの考えが示されたことは非常に残念である。</p> <p>原子力災害に備えた避難計画の策定や避難訓練等で一定の義務と責任を果たしている本市が要望や権利を主張することは当然であり、今後も諸課題について粘り強い要望を展開する必要性を感じる事から以下に問う。</p> <p>(1) 今回の要望に関しては残念な結果となったが、本市としての見解は。</p> <p>(2) 核燃料税の交付金について、市内の3分の2以上がUPZ内にある本市においては、万一の原子力災害の際の影響を考えると交付金配分の拡大を今まで以上に要望すべきと考えるがいかがか。</p> <p>(3) 今後もUPZ圏内の自治体として原発関連諸課題に対し、関係自治体や選挙区選出の県議とより一層の連携の必要性を感じるが、代表幹事としてどのように連携を図るのか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第4位</p> <p>井出方明</p>	<p>1. 我が市におけるDX推進施策について</p>	<p>先日、村井宮城県知事の話の中で、東松島市はマイナンバーカードにリンクしたポケットサインの普及状況が県内でもトップであると伺った。そこで、今後のDX推進施策について問う。</p> <p>(1) 市民に対するマイナンバーカードの普及率は現在の位になったか。</p> <p>(2) デジタル身分証アプリポケットサインの普及率は県内トップと聞いているが、昨年UPZ圏内の市町村住民に対して5,000ポイントの地域ポイントが配布され活用した以降はどのような形で活用しているか。</p> <p>(3) 宮城ピッチコンテスト2024が行われたが、東松島市にとって有用な提言などはあったのか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第4位</p> <p>井出方明</p>	<p>2. 航空自衛隊松島基地との共存共栄について</p>	<p>市長は公約で自衛隊との共存共栄を掲げており、先の航空祭において小野寺衆議院議員が防衛大臣時代に大切にしている事は何かと聞かれた時「地元との繋がりや信頼関係である」と言われた。この様な事から次の点について問う。</p> <p>(1) 7月24日に東松島市コミュニティセンターで全国基地協議会と防衛施設周辺整備全国協議会が開催され伸び悩んでいる交付金などについて、防衛省及び総務省担当者から2025年度予算の見通し説明があったと伺っているが、どの様な見通しであるか。</p> <p>(2) 防衛省から民生安定化のため特に9条交付金の対象に東松島市はなっている。今後の交付金の活用について考えを伺う。</p> <p>(3) 防衛予算が増加する中、基地隊員の訓練及び生活環境改善のために施設整備が行われると聞いている。これらのなかで施工可能な工事を市内業者が優先して請け負えるように要望する考えは無いか伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第5位</p> <p>浅野直美</p>	<p>1. 道の駅東松島開業に向けた駐車場拡張と連絡歩道橋等設置について</p>	<p>今年11月開業予定としている「道の駅東松島」であるが、三陸道を利用する運転者の休憩等利便性向上や本市の経済効果及び知名度向上を担う本市の新しい施設として、その役割は大きく市民にとっても非常に期待の大きなものである。</p> <p>そこで、市内外から多く集客が想定されることや三陸道利用者が道の駅に立ち寄りやすいよう万全の体制で迎えるために、以下について問う。</p> <p>(1) 現在の三陸道下り線矢本パーキングエリアは、大型車両の駐車利用が多く、朝4時～7時の時間帯を観測した結果、毎時間およそ20台～30台の大型車両の駐車があり満車に近い状態を確認した。</p> <p>利府の春日パーキングエリアでは、集客が多くなったことに伴い、上り線に大型車両専用の駐車場を増設して駐車台数を確保している。</p> <p>石巻工業港に運搬する大型車両が今後も多く利用すると思慮する。下り駐車場を拡張し駐車台数を十分に確保する等、国土交通省に申し入れるべきと思うが、考えを伺う。</p> <p>(2) 令和6年第2回定例会での一般質問で、三陸道下り線矢本パーキングエリアから道の駅への連絡歩道橋等設置の必要性を提案した際、市長は下り線からの利便性は道の駅の利益に関わる、関係機関に粘り強く要望していくとの答弁であった。</p> <p>現状の計画では、下り線からの利用する際は、矢本インターチェンジで一度降り、市道百合子線を通る経路となる。</p> <p>下り線からのアクセス向上を図るためには、連絡歩道橋等の設置が必要不可欠であり、誘客数にも大きく影響するものと思慮する。その後の進捗状況について伺う。</p> <p>(3) 連絡歩道橋等は三陸道に設置されることから、設置が実現するのであれば、事業主体は国土交通省となるのか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第5位</p> <p>浅野直美</p>	<p>2. 地球温暖化対策に係る取組推進を</p>	<p>本市は、令和6年3月に東松島市地球温暖化対策総合計画を策定しており、その中で、市全域及び公共施設からの温室効果ガスについて、平成25年度と比較し、令和12年度まで50%削減することを目標に設定している。</p> <p>今般、猛暑等の急激な天候変更や線状降水帯の発生による豪雨被害など、地球温暖化対策に資する取組は、喫緊の課題であり、注力していくべき非常に重要なものである。</p> <p>このことから、本市が計画設定した高い目標を確実に達成していくために、以下について伺う。</p> <p>(1) 令和6年第1回定例会での一般質問において、市長は、脱炭素先行地域のモデルとして、公共施設への太陽光発電設備の設置を進めていくとの答弁であったが、温室効果ガス排出量50%を削減するためには、再エネ・省エネ設備等を導入していく従来の手法だけではなく、様々な取組を複合的に進めていくことが必要と考える。</p> <p>また、幸い本市は、豊かで美しい海岸を有しており、今般注目を集めるブルーカーボンへの取組などについても検討していくべきと考えるが、いかがか。</p> <p>(2) 脱炭素をはじめとした環境課題の解決には、市民や事業者との相互理解や協力が不可欠である。普及啓発や民間事業者との連携について、どのように進めているか、その取組について伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第5位</p> <p>浅野直美</p>	<p>3. 住宅用火災警報器設置について</p>	<p>市民が安心安全に暮らせるために、火災予防の更なる徹底を図るべきであることから、以下について伺う。</p> <p>(1) 消防法の定めにより、新築・既存にかかわらず、すべての住宅に設置が義務化されている住宅用防災機器であるが、平成23年6月の完全義務化から13年が経過している。</p> <p>火災警報器本体内部の電子部品の劣化や電池切れなどで火災を感知しなくなることが懸念されるため、宮城県では交換の目安を最大10年としている。本市において設置状況の調査や市民への広報を徹底すべきと考えるがいかに。</p> <p>(2) 住宅用火災警報器を購入しても、自ら取り付けることが困難な高齢者等の世帯を対象に、取付け支援を行うべきと考えるがいかに。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第6位</p> <p>土井 光正</p>	<p>1. 带状疱疹ワクチン接種費用の助成を早期に実施せよ</p>	<p>带状疱疹ワクチン接種費用の助成については、令和4年と令和5年第2回定例会で質問し、提言しているところであり、今般、厚生労働省が带状疱疹ワクチン接種を定期接種に含める方針を決定している。</p> <p>带状疱疹の罹患は日本人では、50歳代から発症率が高くなり、80歳までに3人に1人が発症するといわれており、治療が長引くケースや後遺症を引き起こし、目や耳に障害が残ることもあるともいわれている。又、带状疱疹の発症に関する新たな大規模観察研究が実施され、新型コロナウイルス感染症が50歳以上の成人での带状疱疹の発症リスクを高める可能性があることが報告されている。</p> <p>この带状疱疹の発症予防のために、ワクチンが有効とされているが、費用が高額になることから接種を諦める高齢者も少なくない。そこで、市民の健康寿命延伸及び健康維持への貢献と医療費抑制のため、発症率の高い働き盛りの50代からの接種助成を早期に実施すべきと提言するがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第6位</p> <p>土井 光正</p>	<p>2. 異常気象や地震災害等による市民の命を守る万全な体制を構築せよ</p>	<p>今年の夏は、昨年と同様、暑い夏となった。特にお盆期間には日本の南海上の熱い海面で発達した台風7号が発生し、この時期には珍しい台風進路で強い勢力のまま県内に直撃との予報で緊張が走った。</p> <p>また、宮崎県日向灘で発生した地震は、南海トラフ臨時情報が発表されるなど震撼させる情報であった。最近、度々発生する宮城県沖での地震も、マグニチュード7クラスの大震災について震源とする宮城県沖地震の確率も高めている。これらのことから次の点について伺う。</p> <p>(1) 台風による降雨は、線状降水帯としてこれまで経験した事の無い降雨となる恐れがあるが、土砂災害警戒区域や浸水区域等に住んでいる市民に対し十分な対応はされているのか。</p> <p>(2) 想定される地震等も含め予期せぬ災害に対し、「災害ケースマネジメント」をどのように進めるのか。</p> <p>(3) 今年度、新たにクーリングシェルターを設置し、市民の暑さ対策、健康対策を実施しているが、課題と来年度の対策について伺う。</p> <p>(4) 熱中症対策として、小・中学校及び市役所や市民センター等の公共施設に給水スポットを導入し、冷水補給できる環境を整備すべきと考えるがいかがか。</p> <p>(5) 小学校のプール利用について、水温+気温の規定温度以上で利用不可となり、昨年度から「ゆふと」の利用を行っているが、見えてきた課題と対策について伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第6位</p> <p>土井 光正</p>	<p>3. 建設業の存続対策について</p>	<p>市内の建設業者は、災害時の初動対応に大きく貢献しており、市民の安心・安全に無くてはならない存在となっている。しかし、震災復興工事が完了した現在は、工事の激減による経営悪化と担い手確保が厳しい状況にあり、存続も危ぶまれていると聞き及んでいる。</p> <p>今般、持続可能な建設業の実現とその必要な担い手の確保のため、建設業法、公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律並びに公共工事の品質確保の促進に関する法律の改正が行われた。これを踏まえ、通常必要な労務費の額を著しく下回る見積りや契約の禁止、価格転嫁の協議円滑化措置や工期ダンピング対策の強化、また、公共工事における休日確保・処遇改善や各段階でのICT活用などが改正されているが、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 働き方改革や担い手の確保を行うため、工事の発注にあたり、休日の確保を含め、十分な工期を確保する体制について伺う。</p> <p>(2) 建設工事元請から下請けさせる場合の労務費等の額は適正であるかの判断をどのように確認しているのか伺う。</p> <p>(3) 建築工事の発注にあたり、建築工事、電気設備工事、水道等設備工事等に分離発注し、各設備工事の受注機会を与えるべきと考えるがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第7位</p> <p>長谷川博</p>	<p>1. 記録的な猛暑から市民の命を守る取組を</p>	<p>地球温暖化に伴い気温の高い夏になっており、テレビ報道の気象情報では「危険な暑さ」などとして、繰り返し熱中症対策についての呼びかけが行われている。</p> <p>今や、東北地方でも夏期の日常生活ではエアコンが欠かすことのできない生活必需品になっている。特に、体温調整機能が低下している高齢の方、持病のある方、乳幼児などには特別の配慮と注意が必要とされ、エアコンは「命綱」といっても過言ではない。</p> <p>本市では、市内の地区集会施設にエアコンの整備を積極的に進めたり、市民センターなどをクーリングシェルター・涼める場所としての活用を呼びかけるなど、熱中症対策を講じていることは一定の評価と受け止めてはいる。</p> <p>一方で、生活保護世帯におけるエアコン設置は生活保護開始時等において、一定の要件があるとも聞き及ぶ。該当しない生活保護世帯がエアコンを取り付けるためには、保護費をやりくりしたり、社会福祉協議会の生活福祉資金の貸付制度を利用することになるが、事実上これらの方法も困難な場合が多く、購入を躊躇することが推察される。</p> <p>こうした状況下で、低所得者や生活保護受給者など経済的理由によりエアコンの購入・設置が困難な方に対して、購入・設置費用の補助・助成を行うべきと考えるがどうか。とりわけ、高齢者世帯への支援は急務と考える。</p> <p>この際、さらなる前向きな取組で、熱中症対策に万全を期すよう求めるがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第8位</p> <p>阿部秀太</p>	<p>1. 学力格差是正に向けた姿勢を問う</p>	<p>「全国学力テスト」の結果が7月29日公表され、仙台市を除く宮城県は小学生と中学生ともにすべての教科で全国平均を下回る結果となった。このことについて市民の関心は高いが趣旨から外れて、いたずらに騒ぎ立て、子どもを取り巻く環境が落ち着かないのも問題であると捉えている。全国レベルでの平均を比較する一方で、本人が選ぶことができない条件によって差が生じる、いわゆる「学力格差」を是正することが行政の務めとの認識から、以下について伺う。</p> <p>(1) 学力調査の分析について</p> <p>① 類似自治体と比較して分析はなされているか。</p> <p>② 市内で改善しつつある学校はあるのか。</p> <p>③ 誤答や成績のばらつきはどうなっているのか。</p> <p>④ 保護者の社会的経済的背景が、不利な条件でもよい成績を収めている子どもがいるのか。</p> <p>(2) 本市の「令和4年度子どもの生活に関する実態調査」では、貧困家庭での課題として保護者の教育期待と学習時間があげられているが、学力格差を生む要因でもあると思慮する。そこで、学力格差是正のために、「子どもの貧困対策計画」が必要と考えるがいかがか。</p> <p>(3) 非認知能力の重要性が認識され、特に早いうちからの介入が効果的であるとの研究報告もあることから、以下について伺う。</p> <p>① 体系化したプログラムはあるのか。</p> <p>(4) コミュニティスクール等で地域との連携が活発になっている。もう一步進めて、例えば、地域全体で語彙力を高めるプロジェクトなど、各校の脈絡に沿ったコミュニティ側への働きかけがあってはどうかと思慮するがいかがか。</p> <p>(5) 令和5年度の児童健診の受検状況を見ると、一定数の未受検者がおり、特に不登校児童の受検率が低くなっている。場合によっては一生を左右する健康上の問題が潜んでいる可能性もあり、学力格差の要因にもなりかねない。ついては、その改善策と令和6年度における状況について伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第9位</p> <p>大橋博之</p>	<p>1. 若者の新規就農を促進する施策は</p>	<p>8月21日に市議会懇談会を開催した。今回は農業委員会委員と「農業における担い手の確保について」をテーマにワークショップ形式で実施した。</p> <p>本市における農業後継者不足の切実なる現状を委員より伺った。</p> <p>何故担い手後継者がいないのか。</p> <p>まず「農業は儲からないからだ」</p> <p>要因は国の政策、厳しい経済環境、気候変動等であるが、抜本的な解決策は見えてこない。各々の経営体での努力では限界がある。</p> <p>まず必要なのは、行政・地域・事業者の共通認識と連携が必要と考える。今後の取組について市長の所見を伺う。</p> <p>(1) 全国の自治体の中でも行政・地域・事業者の三者で組織を立ち上げ、長期的に育成する制度が創設されている。本市でも取り組むべきと考えるが市長の考えはいかに。</p> <p>(2) 都会からの移住定住者が就農したくなる魅力のある助成制度をつくるべきではないか。</p> <p>(3) 地元の農業後継者が安心して就農できる独自の助成制度を考えるべきではないか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第9位</p> <p>大橋博之</p>	<p>2. 骨髄バンクのドナー登録を増やすために</p>	<p>本市でも骨髄バンクドナー提供者への助成制度を宮城県の補助金により導入している。</p> <p>しかしながら、ドナー登録者が減少しており今後の運営に危機感を持っている。献血事業と連動し、月1回ドナー登録の説明会を実施しているが、今後登録者を増やす取組を強化すべきと考えることから、以下の点について市長の所見を伺う。</p> <p>(1) 登録者へアピールする促進ツールを考えてはどうか。</p> <p>(2) 骨髄バンクへのドナー登録を理解していただく広報活動を強化すべき。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第10位</p> <p>手代木 せつ子</p>	<p>1. 陸前小野駅 の環境整備について</p>	<p>東松島市内にはJR仙石線の駅が8カ所存在するが、その中で快速の仙石東北ラインが停車する陸前小野駅の環境整備について伺う。</p> <p>(1) 駅舎脇にある屋根を付けて頂いた駐輪場は、常に満杯状態である。拡張する考えはないか。</p> <p>(2) 陸前小野駅は2020年4月から終日無人駅となり、乗車する際には乗車駅証明書発行機から乗車駅証明書を受け取り降車駅で精算することになるが、そこが無人駅の場合もある。利用者の不安を無くす意味でも券売機の設置をJRに求めているかがか。</p> <p>(3) 今年の夏の猛暑には誰もが閉口し、日中外を歩く人の姿はほとんど見られなかったが、通勤、通学、通院の方々など陸前小野駅の乗客数は一日約350人とされている。ホームに日よけや雨除けの施設をJRに求めているかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要 旨
<p>第10位</p> <p>手代木 せつ子</p>	<p>2. 子育て支援の充実について</p>	<p>令和6年2月定例会で人口減少を少しでも食い止める施策として「子育て支援対策について」一般質問した経緯があるが、その後、スピード感をもったどのような協議がなされているのかを伺う。</p> <p>(1) 令和6年度に入ってから、年度途中における0歳児～2歳児までの待機児童数について伺う。</p> <p>(2) 出生数は減少しているが、0歳児～2歳児の保育所入所希望は増加の傾向にある。子育て支援策として市民が求める公立保育所のあり方をどのようにとらえているのか。</p> <p>(3) 乳児おむつ用品等の購入券など、目に見える市独自の支援策について協議しているのか。</p> <p>(4) SDGsの精神の下、「ほっとふる」においては定期的に子ども服、育児グッズや幼稚園の制服などのお譲り会が開催されて大変好評のようである。 高額な中学校や高校の制服等のお譲りについて、行政としての施策はないのか。</p> <p>(5) 屋外に沢山の遊具があっても今夏のような猛暑の中では誰一人姿はなかった。県内に室内大型遊具施設があるのは白石市と最近利府町にも新設されて大変話題になっている。これからの時代を生き抜く若い子ども達にとって様々な遊具に触れ合うことは、成長過程においても非常に大切なものではないか。 また居場所づくりとしても必要なものではないかと思うがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第10位</p> <p>手代木 せつ子</p>	<p>3. 本市の学力向上施策について</p>	<p>平成30年度から始まった本市の小中学校夏休み短縮も6年目を経過した。これは授業を年間30時間確保し、学力の向上を目指したものであるが、なかなか数字の上で成果が表れていないように見えるが、以下について伺う。</p> <p>(1) 年2回実施される標準学力調査は、一人ひとりの結果として分析され、具体的に取り組むべき学習内容として明確にされているのか。</p> <p>(2) 今夏の猛暑は勉強する環境にも大きな影響があったものと思うが、野蒜市民センターでは、夏休み中冷房の効いた場所を中学生に提供するという支援を行ったところ、市内全域から約20名が参加したと聞いている。今後、他の市民センターにおいても、同様の学習支援を行うことを検討してはいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第11位</p> <p>小野幸男</p>	<p>1. 本市の移住・定住化策の現状と今後について問う</p>	<p>全国的に各自治体間競争が激化しながら、わが町に移住・定住者を増やそうとさまざまなアイデアを出して取り組まれている。テレビ番組での放映も大きな影響があり、芸能人が紹介する地域が多くなり優位性が高く功を奏しているようである。</p> <p>そこで、我々の会派視察研修で7月に長野県須坂市の移住・定住についての研修を行ってきたので、以下について伺う。</p> <p>(1) 本市の移住・定住の現状と実績は。</p> <p>(2) 今後の期待される取組は。</p> <p>(3) 須坂市では、働く場と住む所をサポートした転職移住に取り組んで実績を上げているが、本市でも移住・定住に繋がるように検討してはいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第11位</p> <p>小野幸男</p>	<p>2. 全国学力・学習状況調査を踏まえ教育行政を問う</p>	<p>文部科学省が実施した全国学力テストの結果が7月29日に発表された。宮城県は小学校国語39位、算数44位、中学校国語25位、数学23位で、仙台市を除き全国平均を下回る結果となった。児童生徒の学習環境も多様化している状況も鑑み、以下について伺う。</p> <p>(1) 本市の結果が全国平均を下回る要因はなにか。</p> <p>(2) 「特効薬的なものはなかなか難しい。授業を大切にすることが大事。そのためには先生の授業力や指導力の向上は欠かせない」との宮城県義務教育課長の発言があった。この現状を踏まえ教育長の所見を伺う。</p> <p>(3) 埼玉県での講演で携帯の動画等を見過ぎると学力が低下する傾向がある。一方でICTなる情報技術も今や必要不可欠であり、使用する側の取組課題があるとの意見を聞いたが、この件についての所見を伺う。</p> <p>(4) 本市でもいろいろな取組がなされ、努力を惜しまず児童生徒に向き合っていたらいい。今回の検証も踏まえ私なりに感じたのは、改めて本を読む、字を書く大切さを痛感した。今後の教育に今以上に活かしていただきたいが意気込みを伺う。</p> <p>(5) 親の経済力で教育格差が取りただされているが、現状と対応について伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 教育長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第12位</p> <p>五野井敏夫</p>	<p>1. 本市の産業育成と振興推進はいかに</p>	<p>東日本大震災から13年が経過し、被災地に対する予算措置も縮小されている。また、震災復興事業による住宅建設、ライフライン整備等の終了、コロナ禍による交流人口の減少、様々な理由による物価の高騰など、全ての業種において景気が一気に冷え込んでいる。また、労働環境面では、労働人口の高齢化、2024年問題、気候の温暖化等要因はいろいろあると思われるが、このような状況において各種産業にテコ入れすべきと思料する。以下の点について伺う。</p> <p>(1) 第1次産業の農林水産業の育成と振興推進はいかに。</p> <p>(2) 第2次産業の建設業、製造業等の育成と振興推進はいかに。</p> <p>(3) 第3次産業の小売業、観光サービス、医療、福祉、飲食、金融、情報通信業等の育成、振興推進はいかに。</p> <p>(4) 工業団地又は工業用地の新たな選定の進捗状況はいかに。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第12位</p> <p>五野井敏夫</p>	<p>2. 女性防火クラブの服装について</p>	<p>先般実施された消防団の訓練実施の際、女性防火クラブ員の服装で割烹着が着用されていないのに気付いた。非常に涼しげに感じたが、1人1人の服装は上半身は白っぽく、下半身は黒っぽいズボンで統一されている。それぞれ色彩は統一はされていたが、各々の衣服はばらばらであった。よって以下の点について伺う。</p> <p>暑さ対策として、帽子、上着（Tシャツ等）、靴（スニーカー）を配布すべきと思うがいかに。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>